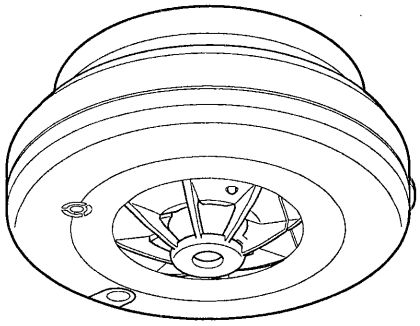
TOSHIBA

取 扱 説 明 書

住宅用火災警報器ヘッド単独型(熱式)



TCRD-2

(AC100V式)

日本消防検定協会　鑑定合格品

住宅防火安心マーク

お買い上げありがとうございます。
ご使用にあたりましては、必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、正しくご愛用の程お願いいたします。なお本取扱説明書はいつでもお読みいただけるところに大切に保存してください。
この取扱説明書は保証書を兼ねています。
販売店（工事店）様へ…工事が終了しましたら、保証書内に必要事項をご記入の上必ずお客様へお渡しください。

警告・注意表示等の基準

この取扱説明書の中で使用している警告・注意表示等の基準は、下表の通りです。

危　険	取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性が高い限定的な場合（高度な危険を含む）、または警報機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定される場合。
警　告	取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合、または警報機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合。
注　意	取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合、または警報機能に悪影響を及ぼす可能性がある場合。

一般的な禁止	分解禁止	必ず行う

東芝住宅用火災警報器保証書

形　名	TCRD-2				
★お客様	お名前	ふりがな　　様			
	ご住所	〒□□□-□□□□			
	電話	市外	市内	番号	呼
保証期間	本体	1 年	★お買いあげ日　□□年□□月□□日から		
★ご販売店	住所・店名 電話				

東芝ライテック株式会社　電材照明社

〒140-8660　東京都品川区南品川2-2-13（南品川JNビル）

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した時には、本書と商品をご持参のうえ、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

（右記をご覧ください）

(60804)A

保証について

・保証期間は、**商品お買い上げ日より１年間です。**

・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

・保証期間中は、保証書を添えてお買い上げの販売店までご持参ください。

・保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関する相談は、お買い上げの販売店または東芝のお客様相談センターにお問い合わせください。その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

1.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（1）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（2）お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
（3）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（4）車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
（5）施工上の不備に起因する故障や不具合
（6）法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
（7）日本国内以外での使用による故障及び損傷
2.離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

・ご転居されたり、贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合
『東芝家電修理ご相談センター』0120-1048-41　（フリーダイヤル）
・新製品などの商品選び、お取扱い・お手入れ方法などのご相談
『東芝家電ご相談センター』　0120-1048-86　（フリーダイヤル）
携帯電話、PHSからのご利用は (03)3426-1048　（有料）
＊フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

はじめに

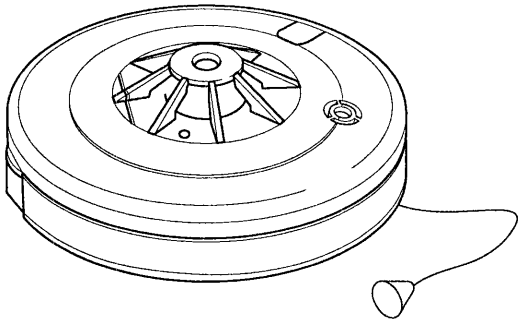
本警報器は「住宅用火災警報器ベース（単独型用）」専用です。必ず同梱の「住宅用火災警報器ベース(単独型用)」をご使用ください。

・この商品は日本消防検定協会の鑑定合格品ですが、消防法で定められた自動火災報知器設備には該当しませんので、それらの用途には使用できません。
・警報する機能をもっていますが火災防止器ではありません。火災などによる損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
・警報音が発生した場合は現場を確認し、適切な処置を行ってください。

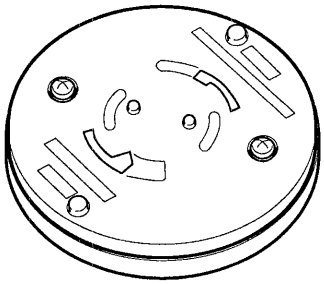
商品のご確認

次のものが揃っていることを確認してください。

●警報器本体
（1個）



●住宅用火災警報器ベース（単独型用）
SH5100（1個）



●取付ネジ（2本）

●施工説明書（１部）
●取扱説明書（本書）

各部の名称と働き

火災を感知したとき

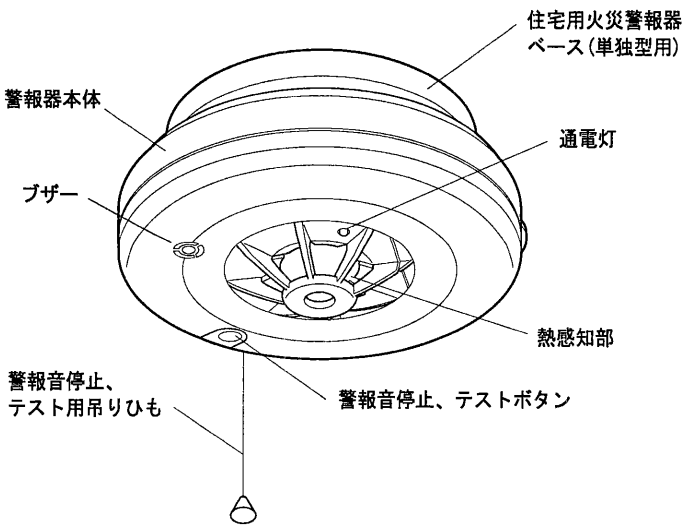
・火災(熱)を感知すると警報器の通電灯(正常時緑点灯)が赤く点滅し、「ピーピー・・・」と警報音が鳴ります。

テストをしたい時

・警報器のテストボタンを押すかまたは吊りひもを引いてください。
しばらくその状態を続けて、警報音「ピーピー・・・」が鳴れば正常です。

警報音を停止したい時

・警報器のテストボタンを押すかまたは吊りひもを引いてください。
約５分間、警報音を一時停止することができます。
※一時停止の間、約４０秒に１回ピッと鳴ることがありますが故障ではありません。
熱がなくなると、警報音は自動的に止まりますが、熱が残っていますと再び鳴りだします。



警報器の取り付け場所

・取り付けに関しては、同梱の施工説明書に従い適切な場所に取り付けてください。

警報器の作動

・火災(熱)を感知すると次のように警報音でお知らせします。
「ピーッ、ピーッ！」

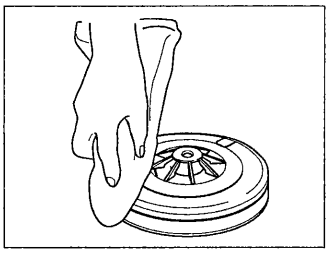
ご注意

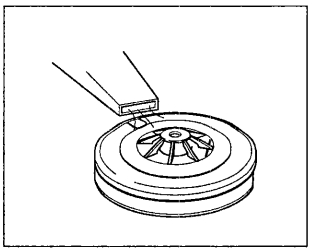
●警報音を発した時
・室温が低くなれば警報音は自動的に止まります。
・警報停止ボタンを押すか、または吊りひもを引くと警報音は止まります。

●再警報音を発した時
・室温が高い場合は約５分後に再び警報音が鳴ります。
換気等により室温が低くなれば警報音は自動的に止まります。

お手入れの方法

・毎年１度は、中性洗剤を浸して十分に絞った布で警報器の汚れを拭き取ってください。この際、熱感知部に触れない様、注意してください。また、熱感知部のホコリやゴミは、掃除機で吸い取ってください。
・掃除の後は、「定期的なテストのお願い」に従い、警報器が正常に作動することを確認してください。





⚠警　告

○お手入れの時は、警報器をはずして行って下さい。取り付けたままでは高所作業となり、転倒・落下などの危険があります。
○警報器本体裏の端子は先が鋭くなっておりますので、取り扱い時にはケガなどにご注意ください。

⚠注　意

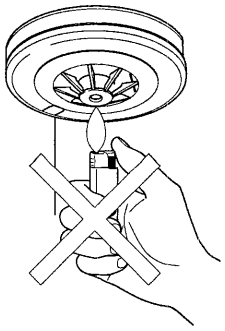
○警報器を水洗いしないでください。また、ベンジンやシンナーを使用しないでください。故障の原因になります。
○警報器は、必ず正しく取り付けてください。
正しく取り付けしないと警報器が作動せず、警報音が鳴りません。

定期的なテストのお願い

・取り付け後は定期的に（１ヶ月に１度）テストボタンを押すか、吊りひもを引き、警報器が正常に作動することを確認してください。
正常な場合、「ピーッ、ピーッ！」と警報音が鳴ります。
警報音が鳴らないときは、「故障かな？と思ったら」をお読みください。
・１週間以上留守にされたときも、警報器が正常に作動することを確認してください。

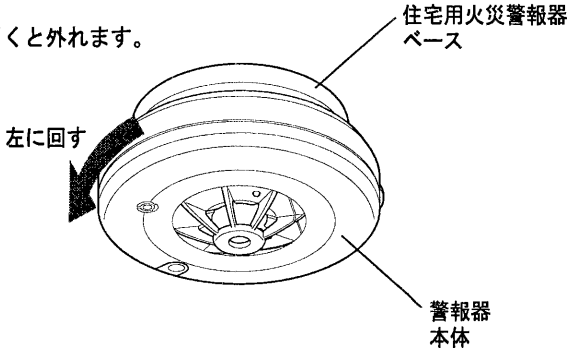
⚠警　告

○テストの時、決してライターなどの炎を使用しないでください。
警報器を壊すばかりでなく、火災の原因になります。
○テストをする時は、安定した台に乗っておこなってください。
転倒してケガをする恐れがあります。



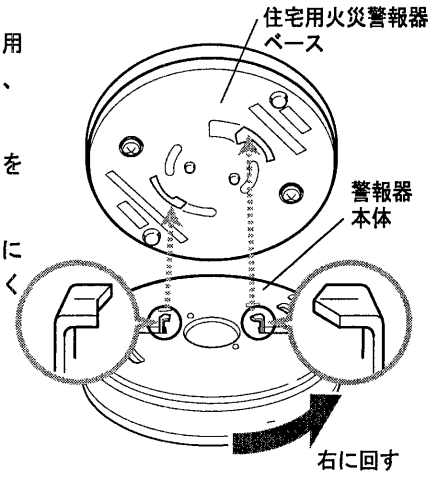
警報器の取り外し方

① 警報器本体を持ち左にまわす。
② 下に引くと外れます。



警報器の取り付け方

① 警報器本体の各端子を住宅用火災警報器ベースに合わせ、止まる位置まで右にまわす。
② 通電灯が点灯していることを確認してください。
③「定期的なテストのお願い」にしたがいテストを行なってください。



故障かな？と思ったら

試験などで故障と思われたとき、下表にしたがって確認してください。処理後、故障が直らないときはお求めの販売店（工事店）までご連絡ください。

現　象	確　認	処　置
・通電灯(緑)が消えている。	・ブレーカがオフになっていませんか？	・ブレーカをオンにする。
・テストボタンまたは吊りひもを引いても警報音が鳴らない。	・ブレーカがオフになっていませんか？	・ブレーカをオンにする。
	・一時停止状態になっている。	・一度テストを行うと、約５分間は再テスト出来ません。５分後再確認してください。
・火災の熱がないのに警報ブザーが鳴る	・警報器の近くに調理の熱や蒸気が滞留していませんか？	・換気などを行い、室温を下げてください。
		・施工説明書を確認し、正しい場所に取り付けてください。
	・警報器の熱感知部にほこりやごみが溜まっている	・「お手入れの方法」にしたがい掃除をしてください。

警報器についての主な注意事項

⚠危　険

○住宅用火災警報器ベース内部の端子部に金属棒などを差し込まないでください。感電や発火の恐れがあります。

⚠警　告

分解禁止	警報器は精密に調整されていますので、内部を分解しないでください。故障の原因になります。

⚠警　告

○この警報器は設置された場所で警報音が鳴りますので、日頃、人のいない部屋に設置する場合は、警報音が聞こえるかどうか確認してから取り付けてください。また、次のような場合は警報音が聞こえないことがありますので、注意してください。
- ・就寝中、薬を服用していた場合
- ・酒を飲んで就寝した場合
- ・ドアを閉めている場合
- ・交通、ステレオ、ラジオ、テレビ、エアコンなどの騒音が大きい場合

○この警報器は熱をキャッチして警報を発しますが、次のような場合は火災を感知できないことがあります。
- ・火のまわりの早い火災
- ・爆発的な火災
- ・ガス漏れ、薬品火災、電気火災など
- ・くん煙火災

⚠注　意

○多量のガスが発生する殺虫剤などを使用する場合は、警報器を取りはずしてください。誤作動の原因になります。

○殺虫スプレーなどを警報器に直接かけないでください。
故障の原因になります。

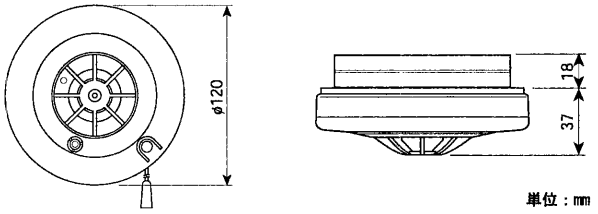
○警報器のすき間に針金などを差し込まないでください。
故障の原因になります。

修理サービス

○ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店（工事店）またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは器具の形名及びお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

仕　様

製品形名	TCRD-2（屋内型）
品名	住宅用火災警報器ヘッド単独型（熱式）
鑑定型式番号	鑑ケ第13～28号
主電源	AC100V　50Hz/60Hz
ベース	SH5100　住宅用火災警報器ベース（単独型用）
検知方式	定温式（サーミスタ）
警報音圧	1mの地点で70dB以上
復旧方式	異常な熱がなくなると自動的に警報が止まります
使用環境	0℃～＋40℃
質量	約131g（警報器本体のみ）
同梱物一覧	警報器本体，住宅用火災警報器ベース（単独型用），取付ネジ，施工説明書，取扱説明書（保証書含む）



単位：mm